

支援プログラム		作成日:令和6年12月20日	
【事業所名:児童発達支援センター向島あづみ・児童発達支援事業】			
法人理念	(1)早期診断・早期療育 脳の発達に様々な可能性のある早い時期に、障害を発見し、個々の子どもにあった療育プログラムをたて、療育を提供します。 (2)親と子の健全な関わりへの協力 障害をもつ子どもと、その子を育てる親が良い関係を築けるように、定期的に学習会を計画し、子育てを楽しく出来るようにサポートしていきます。 (3)インクルージョン理念の実現 本園と地域の保育所(園)、幼稚園、認定こども園との併行保育を利用しながら、地域の子ども達が地域で育ち、育てられるように、また、最終的に地域の学校で学べるように療育します。		
支援方針	インクルージョンの理念に基づき、障害のある子ども達が地域社会の中で、生き生きと生活できる支援・サービスを提供します。 ① 個々に対応した指導・訓練 々に合った検査を行い、年齢・ニーズ・社会適応能力等の実態を把握し、個別支援目標をたて、計画に沿って療育を行います。また、医師・心理士・言語聴覚士・保育士等関係者が一堂に会して、カンファレンスや実態交流等を行い、定期的に成長を評価して、次の目標を明確にして療育をします。 ②地域社会に開かれた施設機能の充実 児童発達支援の拠点としての機能を発揮し、毎日通園児だけでなく、併行児に対しても療育や相談、生活支援等の訓練等を積極的に行います。また、地域の保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校等関係機関や施設等と連携を密にし、あづみ園がもっている情報や技術を提供します。		
営業時間	8:30～17:00	送迎の有無	有
支援提供時間	9:30～14:30		

項目	支援内容
健康・生活	・身の周りのこと、自分で出来ることを意欲的に行うことが出来る。 →1つずつ、視覚を入れ知らせていくことで、園生活での決まりごとや約束等の必要性が分かり、意識して行動に移すことが出来るようにしていく。 ・1日の流れに見通しを持ち、行動することが出来る。 →事前に生活の流れや活動内容を知らせ、見通しを持って過ごすことが出来るようにする。 →指示は端的に出し、繰り返し伝えることで状況を理解しながら自分なりに行動することが出来るようにしていく。
運動・感覚	・様々な遊びに意欲的に取り組む中で、身体機能の向上を図る様に取り組む。 ・指先の巧緻性を高める課題(はさみ・折り紙・塗り絵・運筆等)に取り組む中で、必要な道具を操作する力を身に付けていく。 ・好きな遊びや興味のある遊びを通して身体を動かす面白さや、全身を使って遊ぶ楽しさを感じることが出来る。 →友達と一緒に様々な遊びに挑戦し、十分に身体を動かして、身体機能の向上を図るようにしていく。 →戸外で友だちと思い切り身体を動かして遊べるようにする。
認知・行動	・遊びの中で、文字や数に興味や関心を持ち理解を深めることが出来るようにしていく。 →モデルやイラスト等を使用したわかりやすい支援の中好ましい行動、好ましくない行動を知らせ実際に経験することで「こうしたらよいんだ」という理解につなげていくようにする。 ・季節、行事について知る。 →写真や動画を用いて季節や行事の内容をイメージさせ、理解に繋げていく。 ・様々な線や形を真似て描くことが出来る。 →遊びの中で文字や数を書くための基礎の力を育てていく。
言語・コミュニケーション	・自分の思いを伝え、相手の思いを受け入れながら共感したり、気持ちに折り合いをつけ受け入れたりすることが出来る。 →友だちと生活や遊びを進める中で、自分の考えや気持ちを伝え、伝わったという経験を重ねていくことで言葉での表出につなげていく。 →大人が適切な表現で返し、コミュニケーションとしての語彙表現を増やすことで表出を増やしていくようにする。

人間関係・社会性	・友だちと共に過ごす喜びを味わい、自分達で遊びや生活を進め充実感を味わうことが出来る。 →生活に見通しを持ち、状況に応じて進んで行動し、友だちと協力して声をかけあいながら、活動に見通しを持ち進めることが出来るようにしていく。 ・共通の目標に向かって、お互いを認めあったり協力したりしながら、遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 →みんなでルールや約束を決め遊びに取り組む中で、仲間意識を持ち行動するように取り組む。 ・社会生活での基本的な決まりを理解し、守って行動しようとする。 →なぜ、そうしなければならないのかの意味や理由を考えたり知らせたりすることで、因果関係の理解を深め、気持ちを切り替えながらするべきことにと取り組めるようにしていく。 ・話を聞く態度を身に付けることが出来る。 →話をしている人に注目するよう促し、聞いていることで出来たという成功体験を積み重ねていくようにしていく。 →適切な言葉を知らせ、自分の気持ちをその場にあった言葉で伝えられるように促す。 →成功体験を積み重ね、自信を持ち、意欲的に活動出来るようにしていく。
移行支援 地域支援・地域連携	○日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。 ○関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 (関係機関連携) ・必要に応じて併行先を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもとの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 ・連携会議を定期的開催し、情報収集・役割分担について協議する。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。 (中核機能強化型) ・関係機関との連携を通して、役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 ・地域の自立支援協議会に積極的に参加し、地域の関係機関との連絡体制を確保していく。 ・地域の方々や関係機関の理解を図るため、定期的にフォーラムを開催する。
家族支援	○保護者の意向に寄り添いながら、親と子が良い関係を築いていける様、相談助言していきます。 ・ペアレントトレーニング(個別)の実施 (子育てサポート) ・保護者の方に支援場面の見学や活動参加の機会を提供し、子どもの特性や関わり方など支援方法について、相談助言を行います。 (個別支援) ・個別指導の際に、園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞きとったりし、お互いの情報交換をする事で、家庭での支援方法など相談助言を行います。 (グループ支援) ・定期的に学習会(支援方法・就学についてなど)を開催し、相談助言を行います。 ・必要に応じてペアレントトレーニングを実施します。
職員の質の向上	【職員研修及び障害児発達支援フォーラム】 - 著明な先生方を全国からお招きして講演会を行い、新しい情報を早く正確に学習することで、職員の知識や経験を常に活性化させ、子ども達の療育に反映できるようにしています。また組織の一員としてあるべき基本姿勢・技術力・人間力を高める研修を大切にしています。 【虐待防止】 - 虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施(虐待防止について) 【身体拘束】 - 身体拘束等の適正化の為の研修を実施(身体拘束について) 【感染症の予防及びまん延防止】 - 感染症の予防及びまん延防止の為の研修を実施(感染症対策と感染症発生時の消毒方法・対応について) - 感染症予防対策委員会の開催 【業務継続計画】業務継続計画の為の研修を実施(BCPについて) 【安全計画】安全計画の為の研修を実施(心肺蘇生法・応急処置)
主な行事	・誕生日会 ・遠足 ・お楽しみ会 ・クリスマス会 ・運動会 ・発表会 ・入園式 ・卒園式など